



平成22年11月1日

各位

上場会社名 日本写真印刷株式会社
 代表者 代表取締役社長 兼 最高経営責任者 鈴木 順也
 (コード番号 7915)
 問合せ先責任者 取締役常務執行役員管理部門担当 高橋 勝
 (TEL 075-811-8111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年8月4日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	56,000	500	500	250	5.78
今回発表予想(B)	54,500	△1,000	△1,400	△1,100	△25.63
増減額(B-A)	△1,500	△1,500	△1,900	△1,350	
増減率(%)	△2.7	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	64,819	7,735	7,592	4,555	105.36

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	114,000	1,500	1,700	900	20.82
今回発表予想(B)	110,000	△5,000	△5,200	△3,000	△69.90
増減額(B-A)	△4,000	△6,500	△6,900	△3,900	
増減率(%)	△3.5	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	126,965	11,257	12,061	6,934	160.38

修正の理由

当第2四半期連結会計期間における世界経済情勢は、各国の景気刺激策が一巡する中、欧米を中心とした先進国では依然として消費の先行きに不透明感が残り、景気回復は足踏み状態にありました。このような事業環境下で、当社は利益の回復を最重点項目として、生産工程におけるコスト削減や技術に競争優位性のあるセグメントの拡大に注力しました。

しかしながら、引き続き、産業資材事業のコンシューマー・ノートパソコン向け加飾フィルムの需要および電子事業の携帯電話向けタッチパネルの生産性改善が当初の予想を下回る見込みであり、加えて円高の傾向が続くとみられることから、売上ならびに利益が当初計画を下回ることが想定されます。

これに伴い、平成23年3月期第2四半期(累計)ならびに通期業績予想につきましては、前回予想を下回ると見込まれるため、上記の通り修正いたします。

※ 上記の業績予想につきましては、現時点における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、実際の業績は今後の様々な要因により業績予想とは異なる結果となる可能性があります。

以上